

緋鯉

著者	倉八, 研一
雑誌名	龍南
巻	2 0 6
ページ	6 8 - 6 8
発行年	1928-06-15
URL	http://hdl.handle.net/2298/9004

緋 鯉

春深しやゝ色づきたる櫻坊
小降りとなりみな色増せる若葉哉
朝顔もすにのびたり雨上り
細面こまやたゞ一筋に田舎道
武夫原に松原青し五月晴
垣根越しにたちばな薫る静夜かな
雨上り土いぢる手の温さ

水郷の我里を想ふ

我里に今盛りなる覆い盆ち子こ哉
濁水に蓮の葉開く前の池